

小田原城攻防ゆかりの城跡

MAP P40・41

【三島市】

12 山中城跡

【駿東郡】

13 長久保城跡

【伊豆の国市】

14 葦山城跡

【沼津市】

15 沼津城本丸跡

敵方の心を動かした
小田原攻城

人心掌握にも長けていたという家康公。秀吉による小田原攻城では、敵方である山中城を攻めるとともに、葦山城の城主を説得し、降伏させた。人の心を動かす力を発揮した戦にまつわる地を紹介しよう。

12 山中城跡

小田原城を守るために築かれた城。石を使わない土だけの山城で、全国的にも珍しい。現在は自然豊かな城址公園で、約400年前の遺構がそのまま復元されている。ツツジやアジサイなどが楽しめる。

三島市山中新田
☎055-983-2656
(三島市役所商観光課)



13 長久保城跡

戦略上重要な拠点にあった長久保城をめぐる、家康公をはじめ今川氏、武田氏、北条氏が争った。小田原攻城では家康公が拠点に使っている。現在は、歴史と気軽にふれあえる公園として解放されている。

長泉町長久保
☎055-988-8780(ながいずみ観光交流協会)



14 葦山城跡

小田原城を守る拠点となった葦山城。現在は散策路が整備されている。

伊豆の国市葦山町
☎055-948-0304
(伊豆の国市観光協会)



15 沼津城本丸跡

沼津城の前身は三枚橋城といい、武田氏の拠点だった。武田氏の滅亡によって家康公に明け渡され、名前も沼津城に改められた。現在、沼津城本丸跡は中央公園となり、沼津城本丸跡の碑が建てられている。

沼津市大手町4-185-4
☎055-934-4747
(沼津市産業振興部観光交流課)

スペシャルインタビュー

世界が注目。鷹狩文化を築いた家康公

静岡は「鷹狩の都」!?

海外の鷹狩界でも

家康公は有名人!

鷹狩の歴史は古く、数千年前にまでさかのぼります。中央アジアではじまったともアラブ地域ではじまったとも言われています。やがて中国、朝鮮半島を経て、日本には古墳時代頃に伝えられたと考えられます。腕に鷹を据えた鷹匠の埴輪も出土しています。

2011年にはアラブ首長国連邦で「第2回世界鷹狩の祭典」が開催され、75ヶ国から鷹狩の愛好家、研究者、保護・繁殖の関係者らが参加しました。前年の2010年にはアラブ首長国連邦やフランスなど11ヶ国が共同申請し、ユネスコの無形文化遺産として登録されています。鷹狩は世界的な広がりをもつ伝統文化なのです。



にのみ許された特別なパフォーマンスでした。

そのパフォーマンスは、鎌倉時代から室町時代にかけて、さらに高度に儀礼化されました。お茶やお華、あるいは能楽などと同じように芸術的なレベルにまで洗練され、やがて日本独自の鷹狩の文化が完成しました。

家康公が鷹狩を愛好したことはよく知られています。駿府城址に建つ家康公の像も左腕に鷹が据えられています。鷹狩を愛好した日本の歴史上の偉人として、世界の鷹狩関係者たちにも家康公の名は知られています。

家康公は名だたる鷹匠たちを多く召し抱えました。幕府に

は鷹匠頭という役職が設けられ、その下に鷹匠、鷹匠同心などが置かれました。鷹匠頭と鷹匠は旗本、鷹匠同心は御家人の身分です。

大御所となった家康公の庇護によって駿府には鷹狩の文化が花開きました。中東あるいは中央アジアから長い道のりを経て日本にたどり着いた鷹狩の技。駿府は、いわば鷹狩の都となったわけです。



徳川幕府に仕えた鷹術の一派、諏訪流を受け継ぐ田籾(たごもり)善次郎氏(諏訪流鷹術保存会)

Special Interview



静岡文化芸術大学
文化政策学部 国際文化学科 准教授

二本松 康宏さん

平安時代、日本では鷹狩は天皇の権威の象徴とされていました。たんなる狩猟の技術ではなく、天皇とごく一部の貴族たち